
学校教育

1	重点目標	P13
2	小中学校現況	P13
	(1) 当別小学校	P14
	(2) 当別中学校	P16
	(3) 西当別小学校	P18
	(4) 西当別中学校	P20
3	小中一貫教育	P22
4	学校給食	P24
5	保護者支援制度	P25

➤ 1 重点目標

1 確かな学力の育成（知）

2 豊かな心の育成（徳）

3 健やかな体の育成（体）

※詳細は、P5「当別町教育推進計画」参照

➤ 2 小中学校現況

(1) 児童生徒・教職員数

令和2年5月1日現在

区分 学校名		学級数		児童生徒数（人）								教職員数（人）					
		普通	特別支援	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計	校長	教頭	教諭	養護教諭	事務職員	栄養教諭
1	当別小学校	12	3	41	46	38	44	55	64	9	297	1	1	22.5	1	2	1
2	西当別小学校	9	2	25	25	43	35	47	51	3	229	1	1	14	1	1	
小 学 校 計		21	5	66	71	81	79	102	115	12	526	2	2	36.5	2	3	1
1	当別中学校	6	3	49	70	66				4	189	1	1	15	1	1	
2	西当別中学校	6	2	42	42	43				4	131	1	1	15	1	2	
中 学 校 計		12	5	91	112	109				8	320	2	2	30	2	3	
合 計		33	10							20	846	4	4	66.5	4	6	1

※加配事業による教員等の配置について（上記教職員数の内数）

加 配 事 業 名	当 小	西 小	当 中	西 中	合 計
指導方法工夫改善	1	1	1	1	4
通級指導	3				3
授業改善推進チーム活用事業	1	1			2
免許教科外教科担任解消				1	1
主幹教諭	0.5				0.5
専科指導（英語）			1	1	2
事務職員	1			1	2
少人数学級実践研究事業	1				1
合 計	7.5	2	2	4	15.5

(2) 各学校概況

当別小学校 (中学校併設型小学校)

校章・所在地



【校章の意味】

中央に当別小の文字。3つの輪は考える〈智〉、明るい〈徳〉、元氣な〈体〉の調和を表す。

〒061-0222

北海道石狩郡当別町元町 102 番地

電話：0133-23-2102 FAX：0133-23-3760

校歌

一 紫雲にけぶる 阿蘇の山
 麓をめぐる当別の
 流れつきせぬ 学びやに
 至誠の華は香るなり

二 由緒も深き 開拓の
 先人の意気しのびつつ
 心をつくし 身をつくし
 誠の道にはげみなん

作詞 大橋 義雄
 作曲 末武 涉

沿革の概要

明治 5年	鮎田如牛が当別町において開塾	平成 14年	石狩管内教育機器連盟研究大会開催
6年	「当別教育所」と改称	16年	石狩管内教育実践奨励表彰受賞
39年	校舎現在地移転	17年	ことばの教室が通級指導教室となる
43年	北海道庁官より教育の侯に対し選賞	22年	オヤジの会発足
大正 9年	校舎新築	24年	校舎耐震改修工事
昭和 22年	6・3制により「当別小学校」と改称		体育館改築
39年	特殊学級「いなほ」1学級認可		開校 140 周年記念事業 (全校集合写真・記念バザー・ 記念集会・記念誌作成)
41年	石狩教育研究会特別活動中心校指定 プール完成 (当別学校プール 1号)		当別地区プレイハウスが当別小学校 内へ移転
44年	体育館完成	25年	北校舎トイレ改修工事
47年	新校舎完成、落成式挙行 開校 100 周年記念式典挙行、 記念公開研究会開催、 記念事業協賛会より中庭造成寄贈	27年	電子黒板・書画カメラ設置 当教研学校課題研究発表会
52年	学校基本調査について文部大臣表彰	28年	弁華別小学校閉校により本校に統合
53年	学校の教育目標改訂	29年	小中一貫教育開始 全国書道コンクール団体優勝 (17年連続 28回目)
57年	創立 110 周年記念式典挙行、 PTA 記念事業により遊具施設設置		全国学生書道展覧会団体優勝 (23年連続 33回目)
58年	石狩地区小学校放送教育研究指定校	30年	全国書道コンクール団体優勝 (18年連続 29回目)
59年	石狩管内教育実践表彰受賞 石狩地区小中学校放送教育研究大会開催		当別教育功績表彰受賞
63年	「ことばの教室」1学級認可		全国書道コンクール団体優勝 (19年連続 30回目)
平成 8年	学校給食開始	令和 元年	
12年	コンピュータ教室設置		
14年	開校 130 周年記念写真集作成		

教育目標

一人一人の子どもを大事にし、大事にされ合う人間関係の中で、平和で幸福な社会の担い手として、小中9年間を見通した心身の調和のとれた人間性豊かな子どもを育てる。

- ◇ 知性をみがく子ども (よく考える子ども) 〈知〉
- ◇ 心豊かな子ども (心のゆたかな子ども) 〈情〉
- ◇ 意志の強い子ども (さいごまでやりぬく子ども) 〈意〉
- ◇ からだのじょうぶな子ども (強いからだの子ども) 〈体〉

経営の重点	<p>「子どもの発達や学びの連続性を踏まえた小中一貫教育の推進」による 確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小中一貫教育による確かな学力の定着と向上（知） 2. 個性を伸ばし豊かな人間性・社会性の育成（徳） 3. 命を育む健康・体力の増進、安全教育の推進（体） 4. 学校支援 																																													
研究主題	<p>《 研 究 主 題 》</p> <p>「自律した学びの促進」 ～目的意識を重視した言語活動を通して主体的に学習する児童・生徒の育成～</p>																																													
特色ある教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 小中9年間を見通した小中一貫教育の取組 小中で目指す児童生徒像の共有化を図りながら、9年間を見通した指導計画の作成、小中合同研修会の開催、乗り入れ授業等の取組を行う。 2 確かな学力の定着・向上の取組 「基礎学力」と「続ける力」を育てるドリカムプロジェクトにより、絶対に身に付けさせる基礎学力を明確化し、全学級で共通した取組を行う。（児童が授業に集中できる学習環境づくり・朝の時間の有効活用・家庭学習の継続的な取組等） 3 読書活動の推進 読み聞かせ・読み語りのボランティアの協力も得ながら読書に親しませることによって、豊かな心を育て、確かな学力の基盤を整える。 																																													
学級編制	<p style="text-align: right;">令和2年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>14</td> <td>23</td> <td>17</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>33</td> <td>5</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>27</td> <td>23</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>30</td> <td>31</td> <td>4</td> <td>157</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>41</td> <td>46</td> <td>38</td> <td>44</td> <td>55</td> <td>64</td> <td>9</td> <td>297</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計	学級数	2	2	2	2	2	2	3	15	男子	14	23	17	23	25	33	5	140	女子	27	23	21	21	30	31	4	157	合計	41	46	38	44	55	64	9	297
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計																																						
学級数	2	2	2	2	2	2	3	15																																						
男子	14	23	17	23	25	33	5	140																																						
女子	27	23	21	21	30	31	4	157																																						
合計	41	46	38	44	55	64	9	297																																						
教職員	<p style="text-align: right;">令和2年5月1日現在</p> <p>校長 昇 洋 一 教頭 若 林 公 一</p> <p>教職員数 教諭23名 養護教諭1名 栄養教諭1名 事務職員2名 非常勤講師1名 一貫教育推進講師1名 特別支援学級介助員1名 特別支援教育支援員2名 事務嘱託員1名 学校管理人1名</p>																																													

当 別 中 学 校 (小学校併設型中学校)

校章・所在地



【校章の意味】

当の大文字で囲み、全体を雪の結晶とし、たくましく生きる力を表す。

〒061-0205

北海道石狩郡当別町下川町 125 番地

電話：0133-23-2158 FAX：0133-23-2956

校歌

<p style="text-align: center;">三</p> <p style="text-align: center;">開拓の祖 遠くして 愛と真の 血を伝う 男子女子 手を執りて 結ぶ友垣 誇りあり 吾ら讃えん ああ我が郷土</p>	<p style="text-align: center;">二</p> <p style="text-align: center;">白雪映える 阿蘇岩の 高嶺に想う あけくれば 真理さわめて らんまんの 花咲かせてん 念願あり 文化の殿堂 ああ我が学舎</p>	<p style="text-align: center;">一</p> <p style="text-align: center;">緑風匂う 石狩の 愛の園生に 生い立ちて 光あたらしき 日の本の 使命に生きん 祈りあり 平和の先駆 ああ我が学友</p> <p style="text-align: right;">作詞 井上 治雄 作曲 藤上 定一</p>
---	--	---

沿革の概要

<p>昭和 22年 当別村立当別中学校が開校 校章制定 25年 校歌制定 独立校舎に移転(旧競馬場跡) 27年 中小屋分校が独立 32年 同窓会発足 開校10周年記念式典 33年 三番川、四番川分校が独立 36年 当別川が氾濫し校舎床上浸水 41年 ときわ学級開設(特殊学級) 42年 開校20周年合同記念式典 44年 牛乳給食開始 新校舎完成竣工・移転完了 48年 スクールバス運行開始 52年 開校30周年記念式典 58年 校舎改修工事</p> <p>平成 4年 石狩管内教育実践奨励賞受賞 8年 学校給食開始 9年 スクールカウンセラー配置</p>	<p>平成 9年 当別中学校開校50周年記念式典 15年 第3回東日本学校 吹奏楽コンクール金賞(C編成) 17年 除雪ボランティア善行顕彰を受賞 19年 石教研学校課題研究発表 20年 剣道部女子全道大会出場 21年 相撲部全道大会準優勝、 剣道部女子全道大会出場 22年 相撲部全道大会準優勝 当別町140年記念パレード、 記念式典参加 23年 校舎・体育館耐震化工事完了 バックネットの改修工事完了 24年 JR学園都市線電化開業記念イベント参加 25年 生徒トイレ改修 27年 電子黒板・書画カメラ設置 28年 弁華別中学校閉校により本校に統合 29年 小中一貫教育開始 剣道部全道新人戦準優勝 30年 卓球部管内新人戦優勝 令和 元年 バスケットボール部男子 全道中体連ベスト8 卓球部男子、陸上部全道中体連出場</p>	
---	---	--

教育目標

- ◇ 真剣に学び 自己を高めよう 【知】
- ◇ 協力しあい 責任ある行動をとろう 【徳】 精 神
- ◇ 自ら実行し 最後までやりぬこう 【意】 「優しく 強く」
- ◇ 美しいものに感動できる豊かな心をもとう 【徳】 (昭和63年制定)
- ◇ 身体を鍛え たくましくなろう 【体】

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経営の重点</p>	<p><今年度の重点目標> 深く考え、主体的・協働的に行動できる生徒の育成</p> <p><7つの経営方針と2つの重点目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 信頼と調和のある学校づくりの推進 2 生徒の自己実現を図る教育の推進 3 基礎・基本の確実な習得と自ら考え、判断し、表現する力を育む教育の推進 4 <u>豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進 ※重点目標</u> 視点（1）学習指導＝確かな学力向上をめざし、創意工夫ある学習指導の充実 視点（2）学びの質＝「主体的・対話的で深い学び」の実現 視点（3）体験的な学習＝自主的・実践的な態度を育む体験的な学習の充実 5 <u>共生を基盤とした豊かな人間性を育む教育の推進 ※重点目標</u> 道徳教育＝豊かな体験活動を生かし、指導の重点を明確にした道徳教育の充実 特別活動＝望ましい集団生活を通し、自主的・実践的な態度を育む特別活動の充実 生徒指導＝生徒指導の機能を生かし、自己指導能力を高める生徒指導の充実 健康・安全教育＝生命の尊重を基盤とし、社会に貢献できる健康・安全教育の充実 6 時代を見通し、新たな可能性を育む教育の推進 7 家庭・地域と連携し、地域と共に生徒を育む教育の推進 																														
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">研究主題</p>	<p>《 研究 主 題 》 「自律した学びの促進」 ～目的意識を重視した言語活動を通して主体的に学習する児童・生徒の育成～</p>																														
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特色ある教育活動</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 小中一貫教育（小学校登校、乗り入れ授業、合同集会、小中交流会、部活動体験、合同研修）やコミュニティ・スクールの活用 (2) 数学、理科、英語でT T・少人数学習・習熟度別授業を実施 (3) 全校的に日常の朝読書・自習、週末課題への取り組み、放課後学習会、補習の実施 (4) 総合的な学習の時間では「生き方を求めて」を共通テーマ (5) 体育ではスキー学習、武道等で地域の特性を生かした授業の実施 (6) 部活動については体育系6部、文化系2部 町内の各種催事で吹奏楽部が演奏 																														
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学級編制</p>	<p style="text-align: right;">令和2年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">学年</th> <th style="width: 15%;">1年</th> <th style="width: 15%;">2年</th> <th style="width: 15%;">3年</th> <th style="width: 15%;">特別支援学級</th> <th style="width: 15%;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>26</td> <td>31</td> <td>34</td> <td>4</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>23</td> <td>39</td> <td>32</td> <td>0</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>49</td> <td>70</td> <td>66</td> <td>4</td> <td>189</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計	学級数	2	2	2	4	10	男子	26	31	34	4	95	女子	23	39	32	0	94	合計	49	70	66	4	189
学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計																										
学級数	2	2	2	4	10																										
男子	26	31	34	4	95																										
女子	23	39	32	0	94																										
合計	49	70	66	4	189																										
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">教職員</p>	<p style="text-align: right;">令和2年5月1日現在</p> <p>校長 中村 伸次 教頭 板谷 文美子</p> <p>教職員数 教諭15名 養護教諭1名 事務職員1名 非常勤講師2名 一貫教育推進講師1名 特別支援教育支援員2名 事務嘱託員1名 学校管理人1名</p>																														

西 当 別 小 学 校 (中学校併設型小学校)

校章・所在地



【校章の意味】

雪のように清らかに、鏡のように曇りなき心身の発達成長への願いを表す。

〒061-3776

北海道石狩郡当別町太美町 1481 番地

電話：0133-26-2170 FAX：0133-26-2813

校歌

<p>三 夕雲遠く しずまりて 阿蘇岩山に あかねさす われらはのぞみ もやしあい 育つよ育つ すこやかに 西当別の小学校</p>	<p>二 緑の原を つらぬきて 石狩川の 水清し われらはともに 手を結び 進むよ進む ひとすじに 西当別の小学校</p>	<p>一 青き手稲の かがやけば 豊かなる野に 風かおる われらはあした 集い来て 学ぶよ学ぶ さわやかに 西当別の小学校</p> <p style="text-align: right;">作詞 坂本 作曲 津田 甫亮</p>
---	---	--

沿革の概要

<p>昭和26年</p>	<p>獅子内小学校・太美小学校が合併して 西当別小学校設立 新校舎落成・移転 校章制定</p>	<p>平成16年</p>	<p>ハマナス50本植樹 (朝日新聞社より寄贈)</p>
	<p>27年 西当別小学校校歌制定</p>		<p>18年 文部科学省指定の「小中連携事業」 開始(2か年)</p>
	<p>32年 校舎増築、屋内体育館完成</p>		<p>19年 国際理解教育開始(ALTとの学習) JICA 研修員学校訪問(アフリカ諸国より)</p>
	<p>36年 開校10周年記念式挙行</p>		<p>22年 当別町青少年善行賞受賞 (リングブル・エコキャップ収集) 当別町140年記念パレード見学、 記念式典参加(5年生)</p>
	<p>46年 開校20周年記念式挙行</p>		<p>23年 大崎市へ震災復興激励の横断幕の送付</p>
	<p>48年 増築校舎完成(理科室・準備室、視聴覚室、 放送室、保健室)</p>		<p>24年 JR電化祝賀式典参加</p>
	<p>50年 北海道小中学校放送教育研究大会開催</p>		<p>26年 西当別地区プレイハウスが西当別 小学校内へ移転</p>
	<p>56年 開校30周年記念式・祝賀会</p>		<p>27年 電子黒板・書画カメラ設置</p>
	<p>57年 新校舎完成(普通教室4・音楽室・理科室)</p>		<p>28年 一貫教育推進講師配置 (西当別中学校と兼務) JICA 研修員学校訪問(アフリカ諸国より)</p>
	<p>58年 新体育館落成式・祝賀会</p>		<p>レクサンド市教育委員会視察団訪問</p>
	<p>62年 開校記念日指定・祝賀会</p>		<p>29年 小中一貫教育開始 旧校舎屋根改修工事 西当別コミュニティスクール開始</p>
平成	<p>元年 グラウンド改修工事</p>		<p>30年 全国いじめ問題子どもサミット参加 授業改善推進チーム活用事業開始 体育館屋根改修工事 当教研学校課題研究発表会開催</p>
	<p>3年 高岡小学校本校へ統合</p>		<p>令和</p>
	<p>6年 増築校舎落成式・祝賀会</p>	元年	<p>体育館照明、トイレ、玄関改修工事</p>
	<p>7年 プレハブ校舎4教室完成</p>		
	<p>8年 増築校舎完成式 (普通教室8・音楽室・図工室) 学校給食開始</p>		
	<p>9年 「たんぼ学級」設置</p>		
	<p>13年 新学校教育目標制定 開校50周年記念式・祝賀会</p>		
	<p>14年 視聴覚室改修</p>		
	<p>15年 児童図書管理コンピューター化</p>		

教育目標

- ◇ 心ゆさぶる感性 <心> ・のびのび語り合う子
 - ◇ 学び求める知性 <学び> ・ぐんぐん学び合う子
 - ◇ 生き方を磨く個性 <生き方> ・もりもりきたえ合う子
- [平成13年3月改定]

<p>経営の重点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆小中一貫教育の推進 ◆確かな学びづくり 基礎・基本的事項の確実な習得とその活用による学力の向上 ◆豊かな心づくり 豊かな人間性と強い精神力の育成 ◆健やかな体づくり 体力の向上と健康安全教育の推進 ◆一人ひとりを大切にされた特別支援教育の充実 																																													
<p>研究主題</p>	<p>≪ 重点指標 ≫ 「チーム西当小の協働による、主体的に学ぶたくましい児童の育成」</p> <p>≪ 研究主題 ≫ 「自他を認め、考えを深めることができる子どもの育成【国語科】」</p>																																													
<p>特色ある教育活動</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎・基本を大切に確かな学力を身に付ける学習指導 <ul style="list-style-type: none"> ・全学年の算数と低学年国語でT T指導、3～6年算数で習熟度別少人数指導を実施 ・全校一斉に毎朝「朝読書」「ドリルタイム」に取り組む ・学生ボランティアSATを活用した授業の実施 ・一貫教育推進講師の活用（算数、理科、英語） ・授業改善チームの有効な活用 2 地域の人材を活用した学習支援活動（ときめきバンク・学校支援地域本部事業ボランティア） <ul style="list-style-type: none"> ・様々な教科や特別活動、総合学習の時間などに「ときめきバンク」（人材バンク）に登録している人材の活用 3 NPOと取り組む環境教育 <ul style="list-style-type: none"> ・NPOの協力を得て、環境教育に積極的に取り組む（5年「道民の森」での学習など） 4 活発に行われる読書活動 <ul style="list-style-type: none"> ・全校一斉の「朝読書」、11月の読書月間、地域ボランティアによる本の読み聞かせなど、読書活動を通して豊かな心を養い、国語力向上を目指した取り組み 5 生き生きと展開する児童会活動 <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心を育て、児童相互のふれあいを大切にした「ふれあい集会」 ・リングプル回収運動による福祉施設への車いす寄贈、児童会が主体的に計画運営する「西小タイム」、西当別中と連携した環境活動「クリーン作戦」 6 基本的な生活習慣や子どもの生きる力を育てる幼保小中連携事業の充実・発展 <ul style="list-style-type: none"> ・保育所園児の学校体験会、1年生との交流活動 ・6年生の中学校登校、授業体験 ・小中合同クリーン作戦、芸術鑑賞会、いじめ集会など合同行事の開催 																																													
<p>学級編制</p>	<p style="text-align: right;">令和元年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>11</td> <td>13</td> <td>22</td> <td>15</td> <td>25</td> <td>23</td> <td>1</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>14</td> <td>12</td> <td>21</td> <td>20</td> <td>22</td> <td>28</td> <td>2</td> <td>119</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>33</td> <td>35</td> <td>47</td> <td>51</td> <td>3</td> <td>229</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計	学級数	1	1	2	1	2	2	2	11	男子	11	13	22	15	25	23	1	110	女子	14	12	21	20	22	28	2	119	合計	25	25	33	35	47	51	3	229
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計																																						
学級数	1	1	2	1	2	2	2	11																																						
男子	11	13	22	15	25	23	1	110																																						
女子	14	12	21	20	22	28	2	119																																						
合計	25	25	33	35	47	51	3	229																																						
<p>教職員</p>	<p style="text-align: right;">令和2年5月1日現在</p> <p>校長 伊東優子 教頭 土岐景輔</p> <p>教職員数 教諭14名 養護教諭1名 事務職員1名 一貫教育推進講師1名 特別支援学級介助員1名 特別支援教育支援員2名 事務嘱託員1名 学校管理人1名</p>																																													

西 当 別 中 学 校 (小学校併設型中学校)

校章・所在地



【校章の意味】

六角形の雪の結晶に、西当の文字を図案化し、中の字の周りに配する。

〒061-3772
 北海道石狩郡当別町獅子内 5134 番地 1
 電話：0133-26-2252 FAX：0133-26-2412

校歌

作詞・作曲 倉島 繁

一 石狩の 潮騒遠く
 夕映えの 広ごるほとろ
 厳かしく 立てる学び舎
 西当別 われらのふるさと

二 緑なす 森の梢に
 先人の 功徳びつ
 集い合う 若人われら
 西当別 われらのふるさと

三 涼風は 垂穂にそよぎ
 行く水は 広野うるほす
 豊けしや みのりの里わ
 西当別 われらのふるさと

四 大いなる 恵の朝
 われら今 光を受けて
 踏み分けん 真の長道
 西当別 われらのふるさと

沿革の概要

昭和 22年	獅子内小に併置開校 当別町制施行町立に	平成 14年	全道陸上砲丸投げ3位(個人) 全道陸上110mH3位(個人)
23年	校章制定、独立校舎落成	15年	全道新体操優勝(個人) 全道水泳 50m自由形3位、100m自由形2位(個人)
25年	高岡分校設置		全国新体操準優勝(個人)
26年	旧校歌制定	16年	全道ソフトボール大会3位
31年	体育館落成	17年	新教育目標設定
32年	開校10周年式典	18年	全道ソフトボール大会3位
38年	高岡分校独立		18・19年度国立教育政策研究所委嘱 事業 小中連携教育実践研究指定校 当別町学校教育研究推進協議会学校 研究発表会
42年	開校20周年式典	19年	道「青少年の主張」大会優秀賞(個人)
43年	高岡中学校統合	20年	石狩管内教育実践奨励賞受賞
46年	町プール校地に設置	21年	モンゴル国教育視察団訪問
49年	スクールバス運行	22年	ESD 日米教員交流団来校 体育館耐震改修工事
51年	石狩管内教育実践奨励賞受賞	23年	当別町学校教育研究推進協議会学校 研究発表会
52年	開校30周年式典	25年	体育館大規模改修工事 旧校舎給水管改修工事
54年	体育館落成	26年	校務用生徒用パソコン更新
56年	新校舎落成記念式典	27年	電子黒板・書画カメラ設置
57年	校舎落成記念植樹 グラウンド完成	29年	小中一貫教育開始 開校70周年
平成 4年	学校週5日制開始	30年	全国いじめ問題子どもサミット参加
8年	学校給食完全実施、事務補配置 全国スキー大会回転優勝(個人)		
9年	開校50周年式典・スウェーデン訪問		
11年	全道剣道大会3位(個人)		
12年	増築校舎完成 町P連研究大会(本校PTA主管)		
13年	特殊学級設置・10学級編制		
14年	全道新体操準優勝(個人)		

教育目標

ここ西当別の大地で、

- ◇ 高い知性 (知)
- ◇ 強い意志 (徳)
- ◇ 健やかな体 (体)

を求め、自らの進路を切り拓こう

[平成17年2月制定]

経営の方針と重点	<p><経営の方針></p> <p>【令和2年度 重点教育目標】</p> <p>『Take Action ～自ら行動を起こし、自立できる生徒の育成～』</p> <p><経営の重点></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教職員の和と輪、信頼と相互の協働による教育活動 2. 教職員の使命感、危機管理意識の向上と共通理解による共通指導 3. 生徒の成長を検証する評価と情報発信の充実 4. 保護者・地域関係機関との連携を密にした開かれた学校 5. 次年度新学習指導要領の完全実施に向けた教育課程の管理 6. 小学校との連携によるCSとの関連を持たせた小中一貫教育推進 7. 働き方改革アクションプランの取り組み推進 8. 共生社会に向けニーズに応じた特別支援教育 																														
研究主題	<p>《 研究 主 題 》</p> <p>自らの考えを表現し、学びあう生徒の育成</p> <p>～ 考え、議論する道徳の実践と適切な評価方法の構築 ～</p>																														
特色ある教育活動	<p>①小中一貫教育 学校行事・部活動・児童生徒会の交流事業・小中交流会・新入生説明会 乗り入れ授業・合同研修など</p> <p>②朝読書 全学年年間を通した朝読書の実施</p> <p>②生徒会活動 いじめ撲滅の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハッピースマイルプロジェクト（支え助け合う仲間づくり）の実践 ・小中合同いじめ撲滅集会・撲滅宣言 ・一貫教育・CS連携事業 ・校区内小中合同クリーン作戦 ・挨拶運動 																														
学級編制	<p style="text-align: right;">令和2年5月1日現在</p> <table border="1" data-bbox="279 1422 957 1635"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>26</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>4</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>16</td> <td>20</td> <td>22</td> <td>0</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>42</td> <td>42</td> <td>43</td> <td>4</td> <td>131</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計	学級数	2	2	2	2	8	男子	26	22	21	4	73	女子	16	20	22	0	58	合計	42	42	43	4	131
学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計																										
学級数	2	2	2	2	8																										
男子	26	22	21	4	73																										
女子	16	20	22	0	58																										
合計	42	42	43	4	131																										
教職員	<p style="text-align: right;">令和2年5月1日現在</p> <p>校長 大 浦 浩 教頭 江 連 誠 二</p> <p>教職員数 教諭15名 養護教諭1名 事務職員2名 非常勤講師2名 小中一貫教育推進講師2名 特別支援教育支援員2名 事務嘱託員1名 学校管理人1名</p>																														

➤ 3 小中一貫教育

【授業】

重点	取組	教科系統表の活用
主体的・対話的 で深い学 びの実現	授業改善推進 チーム	2名の改善チーム教師が、小学校間を行き来し授業改善に向けての指導助言にあたる。(年間900時間) また小学校の成果を中学校へも波及させる。
	中学校生活の体験	小学生が中学校の日課のもと、授業や部活動、行事に参加し、中学生活への理解と主体性を高める。
	教科担任制試行	乗入れ授業、芸体系授業での実践
	小中一貫教育推 進講師の配置	町の非常勤職員である小中一貫教育推進講師4名を小・中学校に派遣。(算数・数学、理科、外国語)9か年の連続性や系統性を踏まえた授業を共同(T・T)で行う。 また、教材の作成や小中一貫教育通信による情報発信を行う。

【小学校外国語の先進的取組】

重点	取組	取組内容
小学校 外国語 授業の 充実	【1、2年生】 年間10時間 【3、4年生】 年間35時間 【5、6年生】 年間70時間 ※時数確保のため、60分授業を実 技系教科で週3回実施。	1 外国語指導助手(外国人講師3名)を全授業に配置(年間973時間) 2 町独自の小中一貫教育推進講師(外国語)を2名配置(各中学校区1名) 3 各中学校区に外国語専科指導加配教員(2名)を配置

【研修】

重点	取組	目的	当別地区	西当別地区
教員の指 導力の資 質向上	校内研究 交流	小中共通した研究主題の設定	[研究内容] 表現力の育成	[研究内容] 学習規律の 一貫性
	小中合同 教職員交 流会	授業力向上のための指導法や小中一貫した生徒指導の在り方の研究協議	開催日未定	
	町教育委 員会主催 の教職員 研修開催	教職員の資質向上と今日的教育課題の解決	[夏季] 7月開催予定 [冬季] 12月開催予定	

【小中合同行事】

重点	取組	取組目的及び内容	
学校間の協働 による豊かな 心の育成	いじめ撲滅集会 の開催	児童会・生徒会が主体となり、地域住民・保護者と共に「いじめ」や「自殺防止」について考える。	7月20日開催予定

	芸術鑑賞	相互交流を通じて豊かな感性、創造力、思考力、コミュニケーション能力等の育成を共に図る。	前期開催予定
	クリーン作戦	小・中学生が協同で地域の環境美化に取り組む。その中で、地域の一員であることをはじめ、地域への関心も高める。	前期開催予定
	スポーツフェスティバル (S・F)	「地域に開かれた教育課程」「主体的・対話的・深い学び」を中心に据え、従来の運動会から新たな行事としてS・Fを開催する。	6月開催予定

【学校運営協議会の取組】

1	目的	小中一貫教育のサポート		
2	組織	保護者代表及び地域住民、学校関係者により協議会を形成。	当別地区	西当別地区
			委員13名 (年6回実施予定)	委員22名 (年4回実施予定)
			組織図は8ページ	
3	活動	(1) 学校評価	保護者・地域住民の意見・要望を学校運営に反映するため、学校運営の点検、評価、助言と承認を行う。	
		(2) 児童生徒の生活習慣改善	児童・生徒のメディアに触れている時間が長い現状を踏まえ、学校運営協議会が主体となって、児童生徒の生活習慣改善に取り組む。	
		(3) コミュニティ・スクールカレンダーの作成	学校や地域行事への参加を促すため、学校、地域の行事を記載したカレンダーを校区内全世帯に配布する。	
		(4) 研修会の開催	今日的課題解決のための研修会を開催する。	
		(5) 学校との共催行事	地域と学校教育活動双方の活性化に向けた取組を推進するため、双方が連携した行事を開催する。	職業人の話を聞く集会 (年2回実施予定)

➤ 4 学校給食

1 特色

(1) 食育の推進

地場産食料を活用することにより、子供たちが地域を知り、地域の産業について理解を深め、地域に誇りを持てるような「食育」の展開を進めています。現在、地元農家などと契約して、新鮮な野菜や地元加工品を使用することにより、安全・安心な給食を提供しています。

(2) 食生活改善協議会の協力による食育授業

食育授業の充実を図るため、平成30年度から小学1年生・令和元年度からは小学校3年生の食生活改善協議会の協力を得て行っています。正しい食習慣を身に付け児童生徒一人一人が「自分の健康を考え、食事を選ぶ能力」を身につける大切な学びの場となっています。

2 給食費

区分		実施回数 (回)	一食単価 (円)	年額 (円)
小学校	1年	180	249	44,820
	2年	185・187		46,065・46,563
	3年	184・186	255	46,920・47,430
	4年	184・187		46,920・47,685
	5年	182・184	261	47,502・48,024
	6年	183・185		47,763・48,285
中学校	1年	184・185	317	58,328・58,645
	2年	180・182		57,060・57,694
	3年	174・173	55,158・54,841	

3 学校給食センターの運営

(1) 学校給食センター運営委員会は、教育委員会の諮問機関として10名の委員で構成され、学校給食費会計や給食センターの運営に関わる事項について審議しています。

教職員4名、保護者3名、学識経験者3名 委員任期2年

(2) 調理・配送・配膳業務を北日本フードサービス(株)へ委託(業務従事者27名)

4 施設概要

区分	概要
名称	当別町学校給食センター
所在地	石狩郡当別町若葉2224番地
建設年度	平成7年5月着工
開設	平成8年1月(平成7年度3学期)
敷地面積	3,625.00㎡(1,096.56坪)
建物面積	1,098.12㎡(332.18坪)
構造	鉄筋・鉄骨コンクリート造 一部2階建
調理場区分	共同調理場
厨房方式	ドライシステム
調理能力	最大3,000食/日
廃水処理	回転円板方式
厨芥処理	有機廃棄物処理方式
建設事業費	830,386千円
実施状況	953食/日(令和2年4月現在)

➤ 5 保護者支援制度（学校教育）

1 就学援助

経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、その就学に必要な援助を行う。

内訳（令和2年度支給額）

（単位：円）

支給費目		小学校	中学校	内 容
新入学児童生徒 入学準備金	入学前	51,060	60,000	入学予定者が入学に必要な通常必要とする学用品及び通学用品（H29～）
新入学児童生徒 学用品費等	1年	51,060	60,000	小学校又は中学校に入学する者が通常必要とする学用品及び通学用品 ※ 入学前に入学準備金を受けた場合は対象外
学用品費（学） 通学用品費（通） 校外活動費（校）	1年	（学）11,630	（学）22,730	各教科及び特別活動の学習に必要とされる学用品（実験、実習教材費を含む）、通学用靴、雨傘等の通学用品に係わる経費及び校外活動に参加するために必要な交通費及び見学科
	2年	（学）11,630 （通）2,270 （校）実費	（学）22,730	
	3年		（通）2,270	
	4年		（校）実費	
	5年			
	6年			
体育実技用具費 小1・4年、中1年のみ	スキー	26,500	38,030	体育授業の参加に必要な体育実技用具（スキー、柔道）
	武道用具		7,650	
修学旅行費		実費	実費	小学校及び中学校で、それぞれ1回参加する修学旅行に直接必要な交通費、宿泊費、見学科料などの経費
生徒会費			実費	生徒会費として負担すべき経費（H29～）
P T A会費		実費	実費	P T A活動に要する費用として負担すべき経費（H29～）
学校給食費		現物支給	現物支給	学校給食に要する食費の全額
医療費		実費	実費	感染症又は学校病にかかり、学校から治療の指示を受けたとき、その疾病のための医療に要する費用 学校病とは、トラコーマ及び結膜炎、白せん、疥せん及び膿痂疹、中耳炎、慢性鼻腔炎及びアデノイド、う歯、寄生虫（虫卵保有を含む）をいう。

2 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、就学奨励費を支給する。

内訳（令和2年度上限額）

（単位：円）

支給費目		小学校	中学校
新入学児童生徒 学用品・通学用品購入費	1年	25,555	28,990
学用品・通学用品購入費		5,820	11,370
体育実技用具費 小1~3年、4~6年、中1~3年の 各期間に1回	スキー	13,255	19,015
	柔道		3,825
	剣道		26,455
校外活動等参加費（宿泊を伴う）		1,845	3,105
校外活動等参加費（宿泊を伴わない）		800	1,155
通学費		実費又は実費の1/2	実費又は実費の1/2
修学旅行費		10,790	28,860
学校給食費		実費の1/2	実費の1/2

3 特別支援学級等通学援助費

小学校及び中学校の特別支援学級・通級指導教室に通学する児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、通学費の一部を支給する。